

平成30年度 東京都立桜修館中等教育学校の適性検査問題の出題の基本方針等

1 出題の基本方針

- (1) 小学校で学習した内容を基にして、思考・判断・表現する力をみる。
- (2) 与えられた課題の条件を整理し、論理的に筋道を立てて考える力をみる。
- (3) 身近な生活を題材としてその中にある課題を自分の経験や知識で分析し、考えや意見を的確に表現する力をみる。

2 適性検査問題の出題の方針、問題の構成及び主なねらい

出題の基本方針を踏まえ、以下のとおり適性検査Ⅰ及び適性検査Ⅱを実施する。

適性検査Ⅰ（45分）

- (1) 出題の方針
与えられた題材の中から課題を見付け、情報を整理し、自分の考えや意見を正しく表現し、的確に文章にまとめる力をみる。
- (2) 問題の構成及び主なねらい
江戸時代の学者の文章の一部分を自分の経験などに重ね合わせながら読み、著者の言いたかったことや自分の考えたことなどを、与えられた条件に則してそれぞれ200字、500字以内で文章にまとめ、論理的に表現する力をみる。

適性検査Ⅱ（45分）

- (1) 出題の方針
資料から情報を読み取り、課題に対して思考・判断する力、論理的に考察・処理する力、的確に表現する力などをみる。
- (2) 問題の構成及び主なねらい
 - ・ 大問を3問とし、小問10問で構成する。
 - ・ 引っ越しを題材とし、縮尺や条件を満たすような道順を論理的に考える力、未知の単位による面積の大きさを既知の単位を用いて計算し、正確に表現する力、部屋の割りあて方を論理的に導き出す力、お風呂のお湯の高さと時間の関係の調査結果を分析し、考察する力をみる。
 - ・ 高度経済成長を象徴する事柄を題材とし、複数の資料から読み取った情報を関連付け、それを活用し、考察する力をみる。
 - ・ 花粉や黄砂を題材とし、実験器具の適切な操作方法を理解する力、実験結果を分析する力、資料を読み解き自然現象との関連について論理的に考察し、的確に表現する力をみる。